

用 地 課

用 地 係

## 用 地 係

国土庁が発表した地価公示によると、年間における市内の標準値の地価変動率は、平均8.6%の下落となった。

これは、日本経済の低成長が依然として続き、金融機関における融資の規制も厳しくなり、投機目的の土地取引が減少している結果と思われる。

昨年に比べても、地価の下落は続き、商業地については、依然として大きめな下落が続いているのが現状である。

しかし、住宅地については、住宅取得促進により低金利政策がとられているため、マンション用地等の取得が徐々に活発になってきている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に取得していかなければならないが、地価は、一時期より低くなったものの、依然として高値にあるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であっても土地所有者にメリットがない場合は、協力を得るのに困難な状況にある。

このような状況の中で、本年度は、福生地域体育館駐車場、牛二公園（仮称）新設事業用地のほか道路用地等を取得した。

名 称	買 収			物 件 等 補 償		備 考	
	所有者数	筆 数	面 積	金 額	金 額		
	人	筆	m <sup>2</sup>	円	人	円	
牛二公園（仮称） 新設事業	1	3	775.49	266,048,742			公社から買戻し
鍋ヶ谷戸児童公園拡張 事業	1	2	507.69	154,373,276			〃
福生地域体育館駐車場 新設事業	1	1	528.07	296,527,881			〃
市道1271号線（仮称） 新設事業	2	4	730.36	96,662,260	1	998,000	
市道幹線Ⅱ—10号線 改良事業	8	29	20.65	9,248,350			
市道273号線外1 改良事業	2	5	635.14	46,948,396			
市道田園71号線 改良事業	1	1	84.25	12,500,132			公社から買戻し
市道105号線歩道 設置事業	1	1	37.96	10,818,600			
市道7号線拡幅 改良事業	2	4	35.93	1,790,355	1	585,729	市道改良事業 （狭あい道路分）
市道1167号線拡幅 改良事業	2	1	3.25	407,184	1	403,620	〃
市道20号線拡幅 改良事業	1	1	16.64	1,249,448	1	1,382,456	〃
市道19号線外1拡幅 改良事業	1	1	52.16	5,254,950	1	3,518,646	〃
市道1006号線拡幅 改良事業	1	2	17.49	887,950			〃
市道1185号線拡幅 改良事業	2	1	51.83	3,897,165	1	4,378,500	〃
市道1197号線拡幅 改良事業	1	1	19.81	818,153			〃
市道200号線拡幅 改良事業	1	1	3.30	136,290			〃
市道174号線外1拡幅 改良事業	1	3	61.26	7,928,538			〃
市道幹線Ⅱ—1号線歩道 設置事業	1	1	0.14	13,496			〃
市道12号線拡幅 改良事業	1	1	27.97	3,747,980	1	257,775	〃
市道263号線拡幅 改良事業	1	1	4.34	1,150,100			〃
市道1130号線拡幅 改良事業	2	2	13.82	2,008,720			〃
市道1018号線拡幅 改良事業	2	2	7.51	310,163	1	322,247	〃
市道233号線拡幅 改良事業	1	1	18.88	3,136,667			〃
市道1259号線拡幅 改良事業	1	1	3.03	1,363,500			〃
合 計	38	70	3,656.97	927,228,296	8	11,846,973	